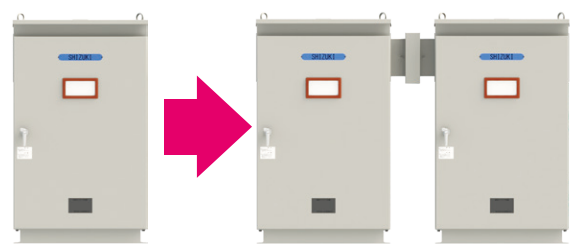


Q 既設に合わせ増設できる？

異容量でも連結することは可能です。お気軽にご相談ください。

例) 既設Q-PAC-2B 1面に

1面追加する場合



Q-PAC-2B 1台と連結

2面追加する場合



Q-PAC-W 1台と連結

外観の異なる設備の
増設も可能です。
ご相談ください。



Q 進相コンデンサ設備の更新時期は？

JEMA(一般社団法人日本電機工業会)の「汎用高圧機器(及び低圧機器)の更新推奨時期に関する調査」報告書において、**15年***と定められています。廃棄の際は、指月電機ホームページ「PCB混入有無の判定および見解書・採油方法資料のダウンロードについて」をご確認ください。

※保証値ではありません。

PCB混入有無の判定および見解書・
採油方法資料のダウンロードについて →



スペック

機種	標準品		低損失品	
	Q-PAC-1B形	Q-PAC-2B形/W形	Q-PAC-1L形	Q-PAC-2L形/WL形
回路電圧	3.3kV または 6.6kV			
相数、周波数	三相、50Hz または 60Hz			
設備容量	100,150,200,250,300,400,500,600,750,800,900,1000kvar			
リアクタンス	6%			
許容電流種別	I種 または II種		II種のみ	
最大許容電流	I種：定格電流の120%以下 第5調波は基本波の35%以下		II種：定格電流の130%以下 第5調波は基本波の55%以下	
	II種：定格電流の130%以下 第5調波は基本波の55%以下			
使用場所	屋内用 または 屋外用(耐塩・重耐塩仕様を含む)			
開閉器	—	真空電磁接触器	—	真空電磁接触器
操作方式	—	常時励磁方式 または 瞬時励磁方式	—	常時励磁方式 または 瞬時励磁方式
操作電圧	—	DC100V,200V または AC100V,200V	—	DC100V,200V または AC100V,200V

●特別高圧品 ●小容量(50,75kvar)、大容量(1000kvar超過) ●リアクタンス13%,15% ●超重耐塩塗装…なども対応可能です

※一部仕様については対応できない場合があります。詳細はお問合せください。

省工事・省工事・省スペースに貢献



Q-PAC
シリーズに
新たな
仲間が登場!

高圧進相コンデンサ設備

Q-PACシリーズ

Q-PACとは？

高圧進相コンデンサ、直列リアクトル、開閉装置、放電コイル、コンデンサ保護装置などの付属機器を一体化し、充電部を完全に遮蔽したコンパクトなコンデンサ設備です。



株式会社 指月電機製作所 SHIZUKI ELECTRIC CO.,INC.

〒662-0867 兵庫県西宮市大社町10番45号
TEL0798-74-5821(代) FAX0798-73-0807

<https://www.shizuki.co.jp>

ウェブサイトはこちら



営業拠点ははこちら

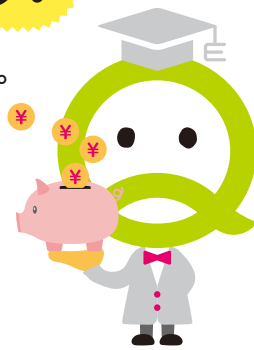


Q 進相コンデンサ設備『Q-PAC』の役割は？

『力率改善』ができます **つまり 電気料金が割引されます！**

●コンデンサを取り付けて力率を改善すると、その分だけ電気基本料金が割引されます。

たとえば…力率85% → 95% → 電気基本料金 **10% 割引!**



●ほかにもこんなメリット

電力設備に
余裕ができる

電力損失が
低減される

電圧が安定する

Q Q-PACシリーズとは？

Q-PAC-1B (標準)
Q-PAC-1L (低損失)

コンデンサ・リアクトル・放電コイルのみのシンプルな構成。開閉や連結はできないが、コストパフォーマンスに優れ、据付面積が小さい。



Q-PAC-2B (標準)
Q-PAC-2L (低損失)

コンデンサ・リアクトル・放電コイルに加えて、真空電磁接触器・ヒューズを搭載。ON・OFF・故障表示灯や制御回路があり、制御盤による開閉に対応。



Q-PAC-W (標準)
Q-PAC-WL (低損失)

Q-PAC-2B/2Lの2面一体構造。
※スペックはQ-PAC-2B/2Lと同様。



2026年
4月
リリース

据付作業時間
20% 削減 見込み

省スペース化
15% 寸法削減

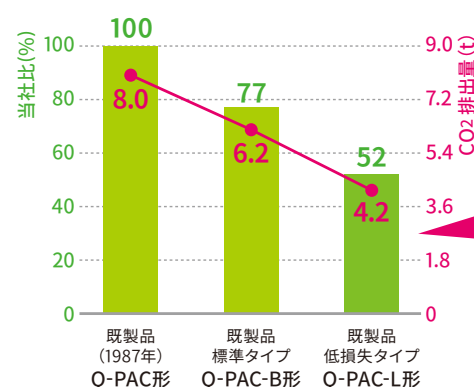
Q-PACシリーズに新たな仲間が登場!

Q-PAC-W

Q Q-PACの低損失タイプとは？

進相設備の低損失化により、電力料金、CO₂発生量と年間消費電力量の低減がはかれます。

[右図]
既設品(1987年)の損失を100%とした損失・CO₂排出量 比較(イメージ)
例)
設置容量: 50Hz 300kvar(L=6%) 3set
稼働時間: 24h×365日



低損失設計で、
電力効率を
最大限に!

既設比
48% 低減



Q Q-PAC-2BとQ-PAC-Wの違いは？



6面の場合

	Q-PAC-2B	Q-PAC-W
設置作業	6回	3回
ダクト連結作業	5か所	2か所
基礎ボルト固定	24か所 (4か所×6台)	12か所 (4か所×3台)

